

「教員免許更新制」の廃止に向けてへの大きなチャンスです

更新制廃止の要請署名を全教職員から！

文科省も「抜本的な見直し」を求めて中教審に対して諮問

文部科学省は3月12日、第11期中教審のヒアリングや審議に対し、『令和の日本型学校教育』を担う教師の育成・採用・研修等の在り方について』を諮問しました。その中で、教員免許更新制について『教師の資質能力の確保』『教師や管理職等の負担の軽減』『教師の確保を妨げないこと』のいずれもが成立する解を見出し、「抜本的な見直しの方向について先行して結論を出してほしい」としています。

「中核都市教育長会」「特別支援学校長会」「高校PTA連合会」も

教員免許更新制については、第10期中教審のヒアリングや審議の中で、廃止を含めた制度見直しを求める「教員の確保に向けて…更新手続の簡略化などの柔軟な対応が必要」(中核市教育長会)、「様々な面で不都合が生じており、重ね重ね廃止を切望します」(全国高等学校PTA連合会)、「教員の大きな負担になっている。代替職員等を探す際に、免許更新していないために採用できないことも多い。ぜひ総合的に見直しを検討していただきたい」(全国特別支援学校長会)などの意見が相次ぎました。これらの廃止を含めた見直しの必要性が指摘されたことを踏まえ、同教員養成部会において、「現場教師を対象とする一定規模の調査によって、ヒアリングで得た事実認識が現場の教師の認識と一致していることを裏付け…、教員免許更新制や研修をめぐる包括的な検証を早急に完了する必要がある」との「申し送り」が次期(第11期)中教審に行われていました。

国会附帯決議でも「教員免許更新制の大幅な縮小や廃止を含め」

声をあげれば変えられる！

教員免許更新制を廃止してください

教員免許更新制の「抜本的な見直し」がすすめられています。当事者である教員の実態を知らせ、廃止を求めましょう。

日常的に研修をすすめているのに、なぜ更新講習が必要なの？教材研究の時間さえ十分に取れないのに、日程調整が大変でした。(教員)

講習は受けたのに手続を忘れた「うっかり失効」で仕事が続けられなくなるなんて、この制度、おかしくないですか。(教員)

臨時・非常勤や退職後の先生を任用する時、未更新だと困ります。少人数学級をすすめるために、もっと先生が必要なのに…。(教頭)



中央教育審議会 ヒアリングでの 全教の主張

- 教員の多忙化を増大させ、免許の未更新が教員未記登の要因になっている
- たたちに免許更新制を廃止すべき

教職員組合以外の団体も、廃止を含めた抜本的見直しを求めました

- 全国市長会
- 全国市教育長会
- 特別支援学校長会
- 全国高等学校PTA連合会 など

3月31日、35人学級を段階的に実現する義務標準法の改正案が国会にて全会一致で可決・成立しました。それに付随して「附帯決議」も採択されました。その3項目めに「35人学級を担う教員の人材確保のため、文部科学省が進める教員免許更新制や研修の包括的な検証において、教員免許更新制の大幅な縮小や廃止を含め、教員の資質能力の確保、負担の軽減、必要な教員の確保の観点から検証・検討を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずること」として政府及び関係者に「特段の配慮」を求めています。

思いや願いを届けて必ず廃止しよう

中教審は「一定規模の調査」を実施して検証を進めるとしてはいますが、その規模は不明確です。中教審の「調査」を待つのではなく、現在学校に勤務している教職員だけでなく、退職教職員や教員免許保持者、そしてこれから教員免許を取得しようとしている人も含めて、その一人ひとりの思いや願いを「教員免許更新制の廃止を求める要請書」で直接文部科学省に届けましょう。